

●令和6年度「税に関する作文」西宮市長賞受賞作文

【題名】「より良い社会」

【学校名・学年】西宮市立高須中学校 3年

【氏名】後藤 万慈迦

私は税金についてあまり良い印象を持っていない人が多いと思います。その理由は、税金についての知識がなく「お金を取られる」というイメージが定着しているからだだと思います。服を買う時、食品を買う時、何を買う時でも税金はついています。私は正直、税金なんていらんんじゃないかと思っていました。そこで私はもし税金がなかったらどんな国になるのかを調べました。

今は救急車を呼べば無料で病院まで運んでくれますが税金がなかったら、タクシーのようにお金がないと運んでくれなくなります。私が毎日のように歩く通学路はボロボロ、道路には信号もなくなります。その他にも、ゴミ収集をする人がいなくなって町中がゴミだらけになったりします。このことを知ってから私は税金がとても大切だということを学びました。

そして私はみなさんに、税金のことについてある程度知識を持ってもらう必要があると思いました。なぜなら、税金の役割や必要さを知らなくて税金を払わない人もいるからです。税金の役割や、もし税金がなかったらどうなるのかをまとめたものを読んでもらうと税金の大切さが分かって払わない人が少しでも減るんじゃないかなと考えました。

また、最近税金が引き上げられたというニュースを見ます。私はなぜ税金を引き上げるのか疑問に思い、調べてみました。その理由は、日本で急速に高齢化が進んでいるからでした。高齢化とともに、社会保障の費用が増え続けていき税金に頼ることが増えているから、税金が引き上げられていたことが分かりました。

税金は、私たちの生活に欠かせない大事なお金です。学校や病院、道路など日常生活で利用する様々なものは、税金によって支えられています。私は税金のおかげで安心して生活できることを知りました。税金はまた、社会の不平等をなくするための仕組みでもあると思います。支援や福祉サービスは、税金によって成り立っているからです。こうした制度によって、みんなが平等に暮らせる社会を目指しているんだと思います。

私たちが払う税金がどのように使われているのか、知ることが大切だと思います。そして納税者としての責任を持ち、税金の使い道について考えることが、より良い社会を作る第一歩だと思います。